

# 清流 ニュ ー ズ

発行所

清流寺  
清流ニュース編集室

令和7年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加  
日髯上人五ヶ年報恩御奉公・御七回忌前年の年  
寺内・境内整備・有志継続・一口奉納御奉公推進  
御利益談を語る信徒の育成・御講願主・御会式参詣者増加  
お助行・御法門聴聞励行・御奉公内容充実・教講一同「利益感得

四月の御総講日

一日 十時 御修行日

七日 十時 バースデー総講

十三日 十時 高祖御命日

十七日 十時 開導御命日

廿五日 十時 門祖御命日

於 清流寺

十一日 十時 高祖御逮夜

十六日 十時 開導御逮夜

廿三日 十時 門祖御逮夜

卅日 十時 歡尊御命日  
晨尊御逮夜

於 羽村別院

会議

一日 御総講後 役中会議

十三日 午後一時 参事会

他寺院参詣

十二日 乗泉寺当番参詣

恒例行事

廿八日 立教開宗記念日

一万遍口唱会

## 本年度門祖会を 無事奉修の御礼



奉修導師のご唱導

会のニューフェイスが目立つようになり、将来へ明るい希望をもたせてくれております。

御教歌

菩薩とは在家出家に

人を助くる

かかはらず  
人をいふ也

大意

御弘通御奉公とは、法華經のみ教えで、世の中を清く正しく救つていく行いの事を言い、菩薩とは「あの人(達)に何かできることはないか」と考えられる人の事を言う。そこに在家(ご信者)出家(教務)も関係なく、人助けの願を発し、ご信心の有難さ、御利益の尊さを語り伝え、共に御題目をお唱えする、その御奉公がさせていただければ菩薩、仏さまの御弟子旦那である。

去る二月二十三日(日)午前十時三十分より、本年度の門祖会が絶好の御会式日和のお計らいの下、当山住職奉修導師の下、無事に奉修されました。以前の門祖会では、前日に雪が降り、当日の天候が危ぶまれたこともありましたが、ここ二、三年は、晴天のお計らいの下、奉修させていただいております。

ご奉公者も、近年は、若手のご信者殊に、青薫

①自分の代でご信心を止めてはいけません。何とか誰かにお伝えさせていただこう、あの人を助けさせていただこうと「願う」

②思っているだけでは伝わらない。断られることを恐れずに、しっかりと口に出して、お寺・ご信心・御利益の話「伝える」。

③そうした御縁から、一緒のお看經、またそこから進んで一緒のお寺参り、行事参加をすすめて共に「唱える」  
特に二番目の「伝える」は我々が、今忘れかけているご奉公。ここをしつかり励むことが大事。



当日の参詣風景



青薫会のお給仕

### 四月十二日(土) 乗泉寺へ当番参詣

来る、十二日(土)本寺である渋谷・乗泉寺への当番参詣が予定されております。年に一度の親寺へのお参詣です。

当山清流寺にとって、乗泉寺は、本寺であり、親寺でもあります。

日ごろ疎遠がちな親寺への年に一度の当番参詣ですから一人でも多くのお参詣者が望まれます。

各教区、各部は将引を徹底して当番参詣を心がけたいものです。

### 四月 朝参詣強調週間と 清流寺祈願助行

二日～六日

第四、第五、第六ブロック担当

四月の朝参詣強調週間は、三日の清流寺祈願助行をはじめ、六日迄実施されます。

四月二日(水) 立川教区

三日(木) 清流寺祈願助行

四日(金) 国立教区

五日(土) 京王教区

六日(日) 武蔵野教区

右の日程で実施されますので、当番教区は、責任をもってお参詣に気ばりましょう。

### 四月廿八日 立教開宗記念口唱会

お祖師さま日蓮聖人は、比叡山を拠点として、諸宗・諸教を学び、真実の仏様の教えを探求され、終に久遠本仏の御本意である、法華經本門八品所願上行所伝本因下種の御題目こそ、すべての人々が救われる御法であることを確信され、故郷である千葉の清澄寺に於て、上行所伝の御題目をお唱えされ、立教開宗を宣言されました。今から八百年程前(一、二五三)のことでした。

開導聖人はご教歌で  
吾祖師の宗旨びらきのはじめには  
旭のそらに鶴の舞ひしと  
と、詠まれました。

当山は、例年この日に、教化必成の為の口唱会を実施しております。

当日は、午前十時より十二時迄口唱会が行われますので一人でも多く参詣して教化達成の為に熱捧を捧げましょう。